



荷重試験に基づく確かな“強度を実証”

風圧想定積載荷重 試験

試験ひさし	AD1 (サポートポールなし)
出幅	1000mm
全長	600mm

積載量 **1000 kgf/m²**



鉄板10kg×60枚

特別強固仕様 試験

試験ひさし	AD1 (サポートポールなし)
出幅	1000mm
全長	1000mm

積載量 **900 kgf/m²**



ひさしの先端に荷重

鉄板10kg×90枚

風圧想定積載荷重 試験

試験ひさし	AD1 (サポートポールなし)
出幅	1500mm
全長	600mm

積載量 **600 kgf/m²**



鉄板10kg×54枚

風圧想定積載荷重 試験

試験ひさし	AD2 (サポートポールなし)
出幅	1000mm
全長	600mm

積載量 **800 kgf/m²**



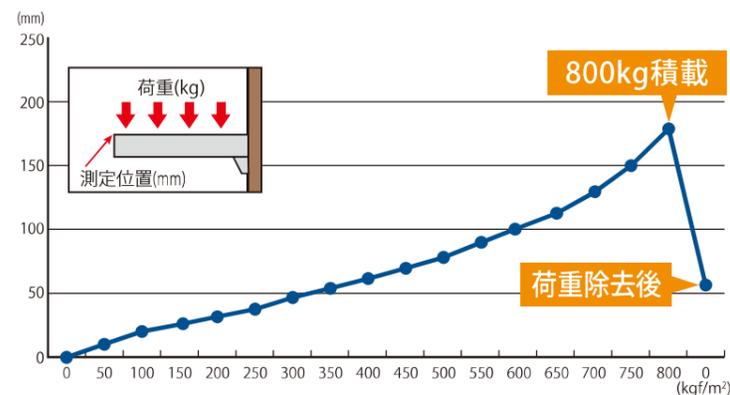
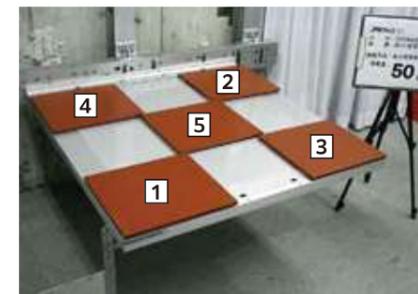
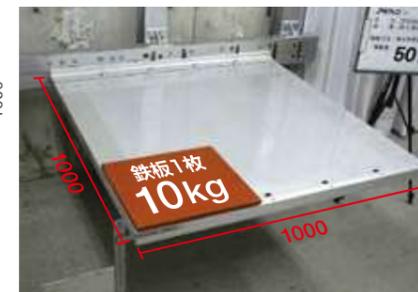
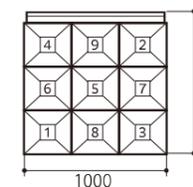
鉄板10kg×48枚

※ひさしに対し均等に荷重をかけた実験による数値です。(弊社調べ) 安全率に関しては、お客様の基準にてご検討願います。仕上げ材・躯体の強度において、十分にご確認・対策を行ってください。

ひさしの強度を保つための“たわみ”

⚠ ひさしを選ぶ場合、デザインや仕様だけでなくひさしの“たわみ”を必ずご確認ください。

たわみによって圧力を吸収し、分散させ、元の形状へ戻る。このたわみこそがアルフィンひさしの強度の秘密。上方からの突発的な落下物だけでなく、積雪などによる荷重、吹き下ろしや吹き上げの風圧にも効果を発揮します。ひさし自体の破壊を防ぎ、ひさしの下方の人々を落下物や破損による被害から保護します。また、衝突時の衝撃を最小限に抑えることで、万が一の事態にも損傷を軽減します。



●AD2 出幅1000mm 全長1000mm 10kgの鉄板×80枚を積載の試験数値。

ビル・マンション用 落下物防止ひさしとしても最適です。

サポートポール不要ひさし ADシリーズは、さまざまな強度・耐久試験をクリアしています。落下物によるひさしのたわみが衝撃をゆるめる役目を果たします。また、サポートポールが不要なので、ポールに当たって飛び跳ねる二次的な事故も回避できます。

高さ20mから7.5kgの重量物を落下させました!

考察
ひさしの破損は、写真のとおりです。スローモニターで検証しましたが、落下時ひさし自体が約20cmたわみ、クッションの役目を果たして、衝撃を和らげられることがわかりました。

実験風景

